

はじめに

再び宇宙からのシグナルを受け取る。

この地球で、私がすべきことを促している宇宙の仲間からのコンタクトだ。

遙か古代の昔から、輪廻転生を繰り返し、この地上で「真の愛」を探求し、「愛」をつないできた魂の持ち主のお話です。

物心ついた頃より、夜の帳の訪れとともに、床につく私の周りには、強い光を放つ蛍の大きさぐらいの、小さな無数の光軍団が現れ、その中を悠然とうねって動くエネルギー体に見守られながら、生きてきた。

太陽神、レムリア

モーゼ、メルキゼデク

ホルス神、スタティラ2世ら

私の魂の一部だったり、私のガイドやガードしたりする見えない世界の人たち。

そして秦の始皇帝を支え、大和朝廷に龍を届け、朝鮮王朝の礎となり、東アジアの安定のために、一翼を担った古代

龍族のご先祖たち。

みな、人類への「愛と平和」のために力を尽くし、この世界に広げようとした。

今世再び、地球のために、この地上に「愛と平和」を届けるために、天界、霊界、人間界、龍族たちが一つになり立ち上がる。

そしてこのときを迎えるために、『目覚め』に人生を捧げてくれた人たちに応えるためにも、私に宿るすべての力を、地球に解き放つ。